



記入日	西暦 2020 年 1 月 15 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	岡崎市立常磐東小学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	1 1
タイトル	まいどあり! どこより安い「非常食」!
実践担当者のお名前	近藤 嗣郎

実践にかかった金額	ほぼ 2 0000 円
実践の準備にかかった時間	4 ヶ月 西暦 2019 年 11 月～2 月
実践活動を実施した日時	① 11 月 1 日、②11 月 9 日、③12 月 3 日、④12 月 8 日 ⑤12 月 15 日、⑥1 月 15 日、⑦2 月 15 日 (予定)
実践の所要時間	①～⑦作業によって異なる 合計で約 5 時間
実践の運営側で動いた人の人数	約 4 0 人
防災教育の対象者の属性	全児童と保護者 学区内の地域の人々
防災教育の対象者の人数	約 250 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛知県岡崎市常磐東学区
実践を行った具体的な場所	① ⑥⑦学校 ②米河内町③大柳町④新居町⑤小丸町 ②～⑤は学区内の町名で、場所は各町の公民館
★実践に必要なだった特定の能力	とくになし

達成目標 社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください	①令和元年度アンケートの結果、「非常食」を備えている家は 46% (111/244 人) で、6 年前 (平成 26 年度) 「非常食」調査では、50% (137/272 人) に比べて若干下がってきている傾向にある。 非常食を地域の方々にも蓄えていただきたい。(知識・技能) ○アンケートや電話からも地域の方から、「6 年前に非常食を学校で販売してくれたが、5 年が過ぎて期限が切れてしまったので、同じものを販売してほしい」との声があった。さっそく児童に話したら地域のために何とかしたいという気持ちが生まれた。(人間性) ○6 年の児童 6 名が、全戸に「非常食」の大切さを訴え、注文の「ちらし」を作って全戸に配付して購入された方々にメッセージカードを添えて配付することで、地域の防災意識を高めたい。(人間性) ○児童がこの活動を通して、表現力・思考力・判断力を培うとともに
--	---



	地域の人々の願いに貢献することで、地域への愛着をもたせたい。 (表現力・思考力・判断力)	
どの力を身につけようとしたか？ <u>該当しないものを削除し該当するものを1つ残す</u>	知識・技能	少し
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり
実践内容・方法 これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません	○防災会議 (教師・地域・大学・NPO 法人・保護者等からなる) ① 第3回防災会議 9月20日 のアンケート結果 アンケート調査結果 非常食は、準備率が 約46%で6年前の(50%)と比べて減少していることが分かった。原因は田舎であるので学区には飲料水用の井戸を備えている人が多いこと、家庭菜園で米や野菜、果物をつくらしている家庭が多くあるから危機感が薄いと考えられる。 ・アンケートや地域の方から、「6年前に非常食を学校で販売してくれたが、5年が過ぎて期限が切れてしまったので、同じものを販売してほしい」との声があったことの報告。 ・これらの情報を担任が児童に説明をすると、「安く販売して地域に役立てたい」との声があがった。 ② 販売業者をさがす (10月初旬) ・子供たちがインターネットで調べたが、非常食は思った以上に根拠が高いことを知る。6年前は「5年保存パン 200円」「5年保存水 200円」で販売した。同じパンはインターネットでは400円から500円もしていた。6年前の業者について調べたが廃業されていてやっていたいなかった。 ・学校で学区の社教委員長さんにお伺いして調査していただき、以前	

防災アンケート 2019. 8 月実施 244 人中

ア	避難所・避難経路・危険箇所	62 人
イ	災害時の連絡先・連絡手段	34 人
ウ	緊急時の非常袋など準備	75 人
エ	非常食や非常水などの準備	111
オ	倒れないように家具の固定	31 人
カ	自宅の耐震への補強など	11 人
キ	その他	2 人
ク	何も見直しをしていない	60 人



の非常食を関係も受け継いでいる業者「SS フード」を見つける。

- ・ 学校（校長と社教委員長）で、値段について交渉し、学校と社教が中心となり、教育の一環としての活動であることと、一括で仕入れることを約束して安価な値段で引き受けてくださった。

③ **非常食のチラシを児童が作成（10 月下旬）** ※チラシは別紙参照

- ・ 校長から話を聞いて、児童がチラシを作成して、回覧板で学区全域に配付したいと校長に申し出た。

④ **学区全世帯に非常食のちらしの配付（11 月 1 日）**

- ・ 校長から全ての町の総代さんに依頼して、学区全域にチラシを配付して、注文を取り、1 月 14 日までに学校に報告していただけるようお願いした。



⑤ **出前防災発表で**

「防災パン」「保存水」の紹介

- ・ 11 月 1 日(全校児童)、11 月 9 日（米河内町）、12 月 3 日（大柳町）、12 月 8 日（新居町）、12 月 15 日(小丸町)及び、1 月 9 日（全校児童）などで紹介することができた。



⑥ **今後の非常食の予定として**

- ・ SS フードに発注 1 月 20 日(学校でまとめて注文)
- ・ SS フードから品物 2 月 15 日（品物がまとめて届く）
- ・ 学校から各町総代へ 2 月 20 日（総代に届く）
- ・ 総代から注文者へ 2 月末日（各町の注文者に配付）





得られた成果 どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください	① 児童がアンケートの結果や地域の声を聞いて、実施していることを知り、多くの人が賛同してくださり、大反響となった。 ② その結果(R2.1/15) の段階で、保存パン 510 個、保存水 318 本の注文があった(最終的にはもう少し増えそうである)。 ③ 保存パンは、全世帯の 8 割 250 個売ればよいと予想していた。だが、全世帯数 330 をはるかに超える想定外の注文となった。 ④ 保存水においても、井戸の保有率が高い学区としては、世帯数の 5 割 170 本を予定していた。結果、全世帯数に迫る本数となった。 ⑤ 6 名の児童が訴えていたことに、地域の方々が応えていただき、達成感が生まれ、「やればできるんだ」という気持ちも育った。 ⑥ 多くの人に自分たちの言葉で考えて訴えることで、表現力・思考力・判断力も培われた。  各町で「非常食」の必要性を呼びかける児童  学校でも非常食を呼びかける児童						
どのくらい身につきましたか？ 該当しないものを削除し該当するものを残す	<table><tr><td>知識・技能</td><td>大いに</td></tr><tr><td>思考力・判断力・表現力</td><td>大いに</td></tr><tr><td>学びに向かう力・人間性</td><td>大いに</td></tr></table>	知識・技能	大いに	思考力・判断力・表現力	大いに	学びに向かう力・人間性	大いに
知識・技能	大いに						
思考力・判断力・表現力	大いに						
学びに向かう力・人間性	大いに						
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるよ	・児童だけでは業者を見つけることも難しいので、学校や地域の人の助けを借りて業者を見つけることができた。 ・業者との校章においても、一括まとめて購入した場合、本数の増加						



うに書いてください	によって値引きをお願いするなどの交渉も児童ではできない。学校で担当が直接話をした。 ・チラシの配付、出前発表などの交渉においても、地域の総代さんや社教委員会などとの交渉は学校の担当で行った。その結果配付の日程や注文などの回収なども全て地域の総代さんに依頼できた。
-----------	---

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について 1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください	
関係者の名前・団体名	SS フード株式会社
関係者の説明	非常食などの食品を販売する会社
関係者の連絡先	0564-47-8728

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ 1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	地域の皆さん
伝えたい内容	「家には家に畑もあれば山もある、井戸もあるので必要ない」とつぶやいていた方も、子供たちのたどたどしい説明の後、その方は、 「それじゃあ。俺も、みんなと一緒に協力するでな。」 と、子供たちにやさしく声をかけて、励ましてくださいました。 本当に地域のみなさんには感謝します。 最初はとても緊張していた子も、皆さんの温かい言葉や笑顔で、子供たちは安心して話すことができました。きっと話すことに少しずつ自信がついてきたのだと思います。